会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和6年 第2回 川西市子どもの人権オンブズパーソン会議		
事務局 (担当課)	子どもの人権オンブズパーソン事務局 市長公室 人権推進多文化共生課 内 (内線 3453)		
開催日時	令和6年12月13日(金) 午後1時30分～1時50分		
開催場所	川西市役所 5階 501会議室		
出席者	オンブズパーソン	渡邊 徹 (代表) 長瀬 正子 (代表代行) 浜田 進士 計3名	
	調査相談専門員	平野 裕子 中村 誠吾 井口 由紀子 計3名	
	事務局	加茂 一哉	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	日程1 会議録署名人の選任について 日程2 報告事項 2024(令和6)年1月～11月の相談状況について 日程3 協議事項 議案第3号 2024(令和6)年次の運営状況等の報告及び公表について		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

日程 1 会議録署名人の選任について

長瀬正子オンブズパーソンが選任された。

日程 2 報告事項

2024年1月～11月の相談受付状況について

中村相談員より、2024年1月～11月の相談受付状況について、月別のケース数、相談者数（新規数・オンブズ発信数）、相談回数、相談者の内訳、相談の方法（回数）、取扱いケースにおける学齢別相談内容、相談者別の訴え内容（回数・割合）、ケースにおいて問題となっている関係（件数）などの集計表にもとづいて報告があった。

主な報告内容は、

- ・相談件数では、ケース数が77件、相談回数が634回となっており、昨年と比べるとケース数、相談回数ともに増加している。
- ・相談者数では、計127人で、うち本年新規の相談者数が63人で、オンブズ発信が12人となっている。
- ・本年新規の相談者の主な内訳としては、子どもが30人、保護者等が25人となっており、昨年と比較すると、子どもからの相談が増加しており、逆に保護者等からの相談が減っている。なお、子どもの相談については小学生低学年および高学年のからの相談が多くなっている。
- ・相談方法では、電話相談がおとな190回、子ども71回、オンブズ事務局来所相談がおとな94回、子ども53回、オンブズくらぶでの相談がおとな0回、子ども159回となっている。また、訪問による相談は、おとな19回、子ども47回となっている。
- ・相談内容の特徴としては、学齢別で見ると、小学生低学年より上の学齢で、表の上段にある「いじめ」や「交友関係の悩み」「不登校」「進路問題」などの相談が多くなっている。また、下段の方にある「教職員等の指導上の問題」や、「学校・保育所等の対応」「家庭生活・家族関係」などは、いずれの学齢においても相談されることが多くなっている。
- ・相談者別の訴えにおいては、子どもの相談では「交友関係の悩み」や「不登校」「家庭生活・家族関係」が多くなっており、おとなの相談では「学校・保育所等の対応」や「子育ての悩み」「家庭生活・家族関係」についての相談が多くなっている。
- ・ケースにおいて問題となっている関係においても、昨年次と比べると大きな変化はないが、本年次は表の上から2段目に示してある「子どもと学校・保育所・教職員等」の関係が問題になっているケースが増加している。

日程 3 協議事項

議案 第3号 2024年次の運営状況等の報告及び公表について

議案説明

川西市子どもの人権オンブズパーソン条例第20条の規定により、2024年次における条例運営の状況等について、市長への文書報告及び公表を行うに当たり、報告事項及びその内容について、オンブズパーソン会議の審議を経る必要があるため、本案を提出する。

協議経過

2024年次の運営状況等の報告及び公表については、「年次報告書(子どもオンブズ・レポート2024)」の章立てと編成内容(案)、及び「2024年次活動報告会」の開催内容企画(案)が提案された。

「年次報告書」の編成内容については、第 章で「オンブズパーソン条例改正に関する提言」を、第 章では「学校における子どもの意見の尊重と子ども参加に関する提言」を掲載するほか、第 章では過去にオンブズで相談経験のある若者へのインタビューを行った内容の報告について掲載すること、また、第 章以下については概ね例年どおりとし、事例紹介やオンブズパーソンからのメッセージ等を掲載する、といった原案のとおり編成することが、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

一方、「2024年次活動報告会」については、2025年3月22日(土)にアステホールで開催すること、今年次のテーマを「声をきかれにくい子どもの声をどうきいていくか」とすること、報告形態・内容については「活動報告1」と「活動報告2」という形で構成することとし、活動報告1では、例年報告しているオンブズパーソン制度運営の概要報告(「2024年次の活動概要報告」)に加えて、2024年次に行った提言や自己発意調査のほか、それぞれのオンブズパーソンから報告を行うこと、さらに、市民等との意見交換等の時間を確保してほしいという要望があることから、質疑応答の時間を含め、これら時間配分等について考慮しつつ、検討を進めていくこと、また、活動報告2として、「声をきかれにくい子どもの声をどうきいていくか」をテーマに、パネルディスカッションを開催。長瀬オンブズパーソンをモデレーターとし、パネリストとして、多田中学校の井上校長先生やNPO代表理事の藏原亜紀さんのほか渡邊、浜田オンブズパーソンにも参加いただき意見交換を行うこと、など、年次活動報告会の内容について審議を行い、原案を基に、市民の方の意見なども参考にして実施することが、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

以 上